

令和 7 年度研究開発委員会 指導資料説明会概要

東京都教育委員会は、東京都の教員全体の指導力向上を図るとともに、急激な社会の変化や学校における教育実践から提起される様々な教育課題や要請に対応するため、研究開発委員会を設置し、教育課題に関わる教育内容や方法等について研究開発を行い、その成果を普及・啓発することにより学校教育の改善・充実を図っています。

令和 7 年度は、3 つの委員会で 25 人の研究開発委員が、研究開発に取り組んできました。

研究開発のまとめとして、研究発表及び研究協議等による指導資料説明会を以下のとおり開催します。

日 時	令和 8 年 1 月 29 日（木） 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで（受付開始：午後 2 時 30 分）
会 場	教職員研修センター 研修室

文理融合教育委員会	
研究主題	文理融合教育の視点を踏まえた教科指導について ～各教科で実践可能な教材開発～
概要	『総合知』の基本的考え方及び戦略的に推進する方策 中間とりまとめ（内閣府 令和 4 年 3 月）において、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」との融合による「総合知」の創出・活用の必要性が示された。本委員会では、昨年度の研究内容を踏まえ、各教科の指導に焦点を当て、教科の目標を達成しつつ、教科等横断的な視点に立って多角的なものの見方の必要性を理解できる教科指導で活用可能な教材を開発した。 説明会では、研究の解説に加え、国語、数学、理科、家庭における検証授業の成果と課題について報告する。

生成 A I の効果的な活用委員会	
研究主題	生成 A I を効果的に活用した学習指導の在り方 ～生徒の思考力・判断力・表現力等を高める生成 A I の活用～
概要	「初等中等教育段階における生成 A I の利活用に関するガイドライン（Ver. 2.0）」（文部科学省 令和 6 年 12 月 26 日）では、生成 A I に対する基本的な考え方や活用上の留意点等が示された。東京都教育委員会は、令和 5 年度より 2 年間実施した生成 A I 研究校における成果を基に、令和 7 年 5 月より全都立学校において都立学校生成 A I サービス（通称：都立 A I）の導入を開始しており、本委員会においては、先に示したガイドラインを踏まえ、「生成 A I の授業での効果的な活用」について研究を深めた。 説明会では、4 つの授業実践の報告を基に、生徒の思考力・判断力・表現力等を高めるための効果的な活用方法や、都立 A I の活用事例について解説する。

特別支援学校における主権者教育・消費者教育委員会	
研究主題	特別支援学校における主権者教育及び消費者教育
概要	主権者教育及び消費者教育に関して、通常の学校の児童・生徒向けの教材は多く公表されているが、知的障害特別支援学校に在籍する児童・生徒に向けた教材は少ない。本研究は、知的障害のある児童・生徒が主権者及び消費者としての必要な資質・能力を身に付けられるようにするため、小・中学部の段階から適切な指導を行うことが重要であると考えた。知的障害のある児童・生徒が主権者及び消費者として適切に判断し、生活を営む実践力を身に付けられることを目指した指導事例の収集を行うとともに、各校で扱えるような単元モデルの研究・開発を行った。